

# 図画工作科学習指導案

安芸高田市立郷野小学校

指導者 本田 光洋

- 1 日 時 平成19年11月8日(木) 第5校時
- 2 学 年 第5学年 男子7名 女子6名 計13名
- 3 題材名 北斎の作品を鑑賞しよう

## 4 題材について

○本題材は、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年の目標(3)「作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなど感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にしようとする。」に基づいて設定した。また、内容においてはB鑑賞(1)「作品などを鑑賞し、それらのよさや美しさに親しむようにする。」のイ「我が国や諸外国の親しみのある美術、暮らしの中の作品などのよさや美しさ、表現の意図などに関心をもって鑑賞すること。」にあたる。浮世絵は、江戸時代に成立した人々の日常や風物などを描いた絵である。版画であるために多く刷り上げることができ、絵巻物、瓦版の挿絵などの役割も果たした。まさに暮らしの中の作品でもあり、我が国の伝統的な美術の一つでもある。特に葛飾北斎の「富嶽三十六景」は西洋画法を取り入れ、遠近法が活用されている特色がある。日本のみならず、ゴッホやドビュッシーなど、世界の芸術家にも大きな影響を与えた作品で、そのよさや美しさを鑑賞するにふさわしい題材と考える。

○本学級の児童は、図画工作の時間を好み、意欲的に学習に取り組んでいる。特に、絵を描く学習にはねばり強く細かいところまで表現しようという姿がたくさん見られた。これまでの鑑賞の学習では、友達の作品を見て、作品のすばらしい点や見習いたい点をカードに書いたり、教科書の「小さな美術館」の絵を鑑賞して感じたことを話し合ったりする活動を行っている。

<児童意識調査結果(10月12日 13名実施)>

- |                                 |       |        |
|---------------------------------|-------|--------|
| ・図画工作科の時間は好きですか。                | はい11人 | いいえ2人  |
| ・友達の作品を見る鑑賞の時間は好きですか。           | はい10人 | いいえ3人  |
| ・プロの作品を見る鑑賞の時間は好きですか。           | はい9人  | いいえ4人  |
| ・「浮世絵」を知っていますか。                 | はい1人  | いいえ12人 |
| ・「浮世絵」を見たことがありますか。              | はい0人  | いいえ13人 |
| ・美術館など芸術作品を鑑賞するところに行ったことがありますか。 | はい9人  | いいえ4人  |

○本題材の指導にあたっては、絵の消えている部分を想像するということから、主体的な鑑賞活動につなげていきたい。葛飾北斎の作品を鑑賞することで、我が国の浮世絵について興味・関心を高めるとともに、その作品から感じたことや想像したことを話し合

うことで、作者や友達の見方や感じ方に共感したり、違いを感じたりしながら、自分の見方や感じ方を深めることをねらいとしている。ただ単に作品を見るということだけでなく、自分が想像したことと実際の作品とを比べることで、作者の意図を考えるという視点を児童に持たせたい。また消えている作品と実際の作品を比較することで、作者の構図の巧みさを実感させ、葛飾北斎の浮世絵のすばらしさを味わわせたい。

## 5 デジタルコンテンツ活用の意図

消えている部分を想像するという活動は、児童の知的好奇心を高める活動であると考えられる。描かれたものの「一部分を消す」という作業は、デジタルならではの教材作成技術で、自分が想像したものと、実際の作品との比較も容易にさせる。また、地域に美術館などがなく実物を鑑賞することが難しい場合にもデジタルコンテンツを活用することで、本物にふれることに近い体験をさせることができる。

(参照：明治図書「実践！デジタルコンテンツ活用55例」 中川一史・前田康裕 編著)

## 6 指導計画及び評価計画

次	学 習 内 容 (時数)	評 価					
		造	発	創	鑑	評価規準	評価方法
1	「北斎の作品を鑑賞しよう」 ○「神奈川沖浪裏」の消えている部分を想像して描き、もとの絵と比べて鑑賞する。 (1時間)				○	B 鑑賞 (1) イ 我が国の伝統的な美術である「浮世絵」のよさや美しさを、表現の意図などに関心を持って鑑賞している。	行動観察 発言 ふりかえりカード

## 7 本時の指導

### (1) 目標

浮世絵の消された部分を想像することによって、構図の巧みさを実感し、葛飾北斎の作品のすばらしさを味わう。

### (2) 評価規準

「神奈川沖浪裏」の欠けている部分を想像して描き、実物と比較しながら、作者の意図を考え鑑賞している。

### (3) 準備物

「神奈川沖浪裏」のスライド(6種類)、ワークシート(2種類×13枚)、コンピュータ、プロジェクタ、スクリーン、他の「富岳三十六景」の浮世絵、デジタルカメラ、USBケーブル、ふりかえりカード(13枚)

(4) 展開

	学習活動	指導上の留意点 (◆支援)	評価規準	評価方法
導入	1 富士山と人物を消した「神奈川沖浪裏」をみて、感想を出し合う。	○短い言葉で簡単に見た感想を出させる。 ○この「浮世絵」の描かれた時代や作者を知らせる。		
展開 ①	2 この絵の背景を考えてワークシート1へ描く。 3 背景があって人物を消した「神奈川沖浪裏」を提示し、自分たちの絵と比較しながら鑑賞する。	○書き込む絵のうまさよりも発想を大事にしたいので、スケッチペンで直接書かせる。 ◆波の間に何か一つ描くように言葉がけをする。 ○児童の作品をデジタルカメラで撮影し、プロジェクタで投影していく。 ○つぶやきをひろいながら、感想を発表させていく。		
展開 ②	4 船の上の人物の様子を考えてワークシート2へ描く。 5 もとの絵に続き、人物の部分が拡大してある絵を見せて自分たちの絵と比較しながら鑑賞する。	○人物がどんな動作をしていたのか分かるように描かせる。 ◆動作がわかれば簡単な描き方でよいことを知らせる。 ○児童の作品をデジタルカメラで撮影し、プロジェクタで投影していく。 ○つぶやきをひろいながら、感想を発表させていく。	「神奈川沖浪裏」の欠けている部分を想像して描き、実物と比較しながら、作者の意図を考え鑑賞している。	行動観察 発言 ふりかえりカード
まとめ	6 もとの絵と富士山と人物を消してある絵を比べ、感想を出し合う。 7 ふりかえりカードを書く。	○富士山と人が「脇役」、波が中心となる「主役」があることを押さえる。 ○他の「富岳三十六景」の作品をスライドショーで流しながら、カードを書かせる。		